



鷺小だより

児童数
305名

<http://www.kuki-city.ed.jp/washinomiya-e/>

学校教育目標

- ◎学ぶ子
- ◎やさしい子
- ◎元気な子

平成30年度のしめくくりにあたって ～学校・家庭・地域のさらなる連携を～

鷺宮小学校長 江森 浩

平成30年度も最終月を迎えます。子どもたちは、それぞれが立てた目標を達成するために、自分の持てるよさや力を発揮しながら努力を積み重ね、大きく成長したように思います。現在の学年での学習や生活のまとめをしっかりと行い、次の学年につなげていきたいと思ひます。卒業、進級に向け、引き続き励ましや見届けをよろしくお願ひいたします。

さて、今年度は、学校教育目標（目指す児童像）【学ぶ子（自ら、学び続ける子）】【やさしい子（思いやりのある子）】【元気な子（最後までやりぬく子）】の実現を目指し、コミュニティ・スクールとして家庭や地域との連携を深めながら、様々な教育活動を展開してきました。学校では、それらの取組の成果と課題を明らかにし、次年度、順調にスタートがきれるように教育計画の作成を進めているところです。保護者の皆様には、「学校の教育活動に対する保護者アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。その結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

【昨年度よりも評価の高かった項目】	【評価の低かった項目】
お子さんは、楽しく学校にかよっている。	お子さんは、進んで家庭学習（宿題、自主学習など）に取り組んでいる。
学校は、積極的に地域に出かけたり、外部指導者や地域の方々などを招いたりして特色ある教育活動を展開している。	お子さんは、自分からはっきりと家庭や地域の方々にあいさつをしている。
学校は、子どもにとって安心して居心地のよい学級をつくり、子供一人一人のよさや可能性を引き出し、自尊感情を高めることに努めている。	学校は、規律ある態度の定着、いじめ問題の未然防止や早期解決のために子どもに寄り添い、継続して指導・見届けをしている。

【昨年度よりも評価の高かった項目】をみると、「コミュニティ・スクールの着実な推進」や「学級経営の充実」のために取り組んできたことが少しずつではありますが、実を結んできているように思ひます。

一方、評価の低かった「家庭学習の習慣の確立」「あいさつの励行」は、昨年度も課題となっており、学校・家庭・地域が連携して継続して指導したり、取組を工夫したりしていく必要があることを感じています。また、「いじめ問題」については、保護者の皆様にとって常に心配されていることだと思います。今年度は「思いやりのある子」を重点に、年度当初から「いじめは絶対に許しません」ということを朝会などで言い続けてきました。それでも、いじめは発生します。未然防止に努めることはもちろんですが、早期発見のためには子どもを見守るすべての大人たちが、子どもが示す小さな変化を見逃さないようにアンテナを高く保ち、積極的に情報交換を行い、情報を共有することが大切だと考えています。社会全体で子どもを守り、健全育成を図っていくために、これからも保護者や地域の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

おわりに、今年度鷺宮小学校にお寄せいただいた保護者や地域の皆様をはじめとする多くの方々のご支援、ご協力に改めて感謝申し上げますとともに、次年度も本校の教育活動の推進に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。1年間ありがとうございました。

（※なお、学校評価（「学校の教育活動に対する保護者アンケート」）の詳しい結果につきましては、本校ホームページをご覧ください。）